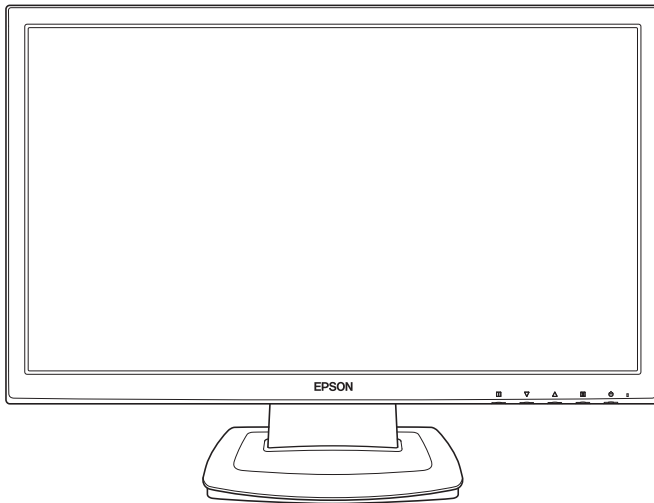


21.5型ワイド液晶ディスプレイ

取扱説明書



LD22W62S



ご使用前に

- ご使用の際は、必ず本書をよくお読みください。
- 本書は、不明な点をいつでも解決できるように、すぐに取り出して見られる場所に保管してください。


安全にお使いいただくために

本書および製品には、製品を安全に正しくお使いいただき、お客様や他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために絵表示が使われています。




その表示と意味は次のとおりです。内容をよく理解してから本文をお読みください。

| | |
|---|--|
|  警告 | この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。 |
|  注意 | この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。 |

- 障害や事故の発生を防止するための禁止事項の内容を表しています。

| | |
|---|-------------------------------------|
|  | 製品の取り扱いにおいて、してはいけない行為（禁止行為）を示しています。 |
|---|-------------------------------------|

- 障害や事故の発生を防止するための指示事項の内容を表しています。

| | |
|--|---------------------------------|
|  | 必ず行う事項（指示、行為）を示しています。 |
|  | 電源プラグをコンセントから必ず抜くことを示しています。 |
|  | アース端子を必ず接地（アース）して使用することを示しています。 |

⚠ 警告



交流 100V 以外の電源は使用しないでください。
交流 100V 以外の電源を使うと、感電・火災の原因となります。



ぬれた手で電源プラグを抜き差ししないでください。
感電の原因となります。



雷が鳴りだしたら、電源プラグをさわらないでください。
感電の原因となります。



電源プラグを取り扱う際は、次の点を守ってください。
取り扱いを誤ると、火災の原因となります。

- 電源プラグはホコリなどの異物が付着したまま差し込まない。
- 電源プラグは刃の根元まで確実に差し込む。
- 電源プラグを長期間コンセントに差したままにしない。

電源プラグは、定期的にコンセントから抜いて、刃の根元や刃と刃の間を清掃してください。



電源コードのたこ足配線はしないでください。
発熱し、火災の原因となります。
家庭用電源コンセント（交流 100V）から電源を直接取ってください。



本機には、必ず同梱された電源コードを使用してください。また、同梱された電源コードは、ほかの製品に使用しないでください。
感電・火災の原因となります。



破損した電源コードを使用しないでください。
感電・火災の原因となります。
電源コードを取り扱う際は、次の点を守ってください。

- 電源コードを加工しない。
- 無理に曲げたり、ねじったり、引っばったりしない。
- 電源コードの上に重いものを載せない。
- 発熱器具の近くに配線しない。


電源コードが破損したら、カスタマーサービスセンターにご相談ください。
カスタマーサービスセンターへの連絡方法は、[別冊](#)『サポート・サービスのご案内（ディスプレイ用）』をご覧ください。

警告

本機から異臭や異音がする、発煙するなど、異常状態のまま使用しないでください。

感電・火災の原因となります。

すぐに電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いて、カスタマーサービスセンターまでご連絡ください。

カスタマーサービスセンターへの連絡方法は、 別冊『サポート・サービスのご案内（ディスプレイ用）』をご覧ください。

お客様による修理は危険ですから絶対にしないでください。



通風孔など開口部から内部に金属類や燃えやすいものなどを差し込んだり、落としたりしないでください。


感電・火災の原因となります。



水などの液体や異物が本機内部に入った場合は、そのまま使用しないでください。

感電・火災の原因となります。

すぐに電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いて、カスタマーサービスセンターまでご連絡ください。

カスタマーサービスセンターへの連絡方法は、 別冊『サポート・サービスのご案内（ディスプレイ用）』をご覧ください。



本機の分解や改造はしないでください。

けがや感電・火災の原因となります。



アルコール、シンナー、ガソリンなど揮発性可燃物質または可燃性ガスのある場所では使用しないでください。

また、本機の内部や周囲で可燃性ガス含有のスプレーを使用しないでください。

火災の原因となります。



電源プラグのアース端子を接地（アース）してください。

感電の危険があります。

アースは必ず、電源プラグをコンセントに差し込む前に行ってください。

また、アースを外す場合は、必ず電源プラグをコンセントから抜いた後に行ってください。



アース端子は、絶対にガス管に接続しないでください。

火災の原因となります。



アース端子をコンセントに挿入または接触させないでください。

感電の危険があります。

⚠ 注意



小さなお子様の手の届くところに設置、保管しないでください。
落ちたり、倒れたりして、けがをする危険があります。



不安定な場所（ぐらついた台の上や傾いた所など）に置かないでください。
落ちたり、倒れたりして、けがをする危険があります。



湿気やホコリの多い場所に置かないでください。
感電・火災の危険があります。



本機の通風孔をふさがないでください。
通風孔をふさぐと内部に熱がこもり、火災の危険があります。
設置する際は、次の点を守ってください。

- 押し入れや本箱など風通しの悪いところには設置しない。
- 毛布やテーブルクロスのような布をかけない。



各種コード（ケーブル）は、本書で指示されている以外の配線をしないでください。
配線を誤ると、火災の危険があります。



液晶ディスプレイが破損して、内部の液体が漏れた場合は、液体をなめたり、さわったりしないでください。
火傷や化学物質による被害の原因となります。
万一、液体が皮膚に付着したり、目に入ったりした場合は流水で十分に洗い、医師に相談してください。



連休や旅行などで長期間ご使用にならないときは、安全のため電源プラグをコンセントから抜いてください。



本機を移動する場合は、電源を切り、本機からすべての配線を取り外してください。



本機を廃棄する場合は、法律に従って正しく処理してください。



目次

| | |
|------------------------------|----|
| 安全にお使いいただくために | 2 |
| 本書中の表記 | 7 |
| 梱包品を確認する..... | 8 |
| 本機の特長 | 9 |
| 各部の名称と働き..... | 10 |
| 本機前面..... | 10 |
| 本機背面..... | 11 |
| コンピューターと接続する | 12 |
| セキュリティーロックスロットを利用する | 17 |
| 電源の入れ方 / 切り方..... | 18 |
| 使用時の確認事項..... | 19 |
| 省電力機能について..... | 19 |
| 表示する | 20 |
| 自動画面調整（アナログ接続時）..... | 20 |
| 2 台のコンピューターの画面を切り替えて表示する ... | 21 |
| ECO Mode を使用する | 21 |
| 音声を出力する..... | 22 |
| OSD メニューで調整する..... | 23 |
| OSD メニューの起動と操作..... | 23 |
| メニュー画面の詳細..... | 25 |
| お手入れ..... | 32 |
| 収納するときは..... | 33 |
| 困ったときは | 34 |
| 修理を依頼する前に..... | 35 |
| 機能仕様一覧 | 36 |
| プリセットタイミング（アナログ接続時）..... | 37 |

本書中の表記





安全に関する記号

本書では次のような記号を使用しています。

| | |
|---|--|
|  | この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。 |
|  | この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。 |




一般情報に関する記号

本書では、次のような一般情報に関する記号を使用しています。

| | |
|---|---------------------------------------|
|  | 制限事項です。 機能または操作上の制限事項を記載しています。 |
|  | 参考事項です。 覚えておくと便利なことを記載しています。 |
|  | 操作手順です。 ある目的の作業を行うために、番号に従って操作します。 |
|  | 手順が次ページに続くことを示します。 |

参照先に関する記号

本書では、次のような参照先に関する記号を使用しています。

| | |
|---|-----------------------------------|
|  | 本書内の参照ページを示します。 |
|  | 別冊子を示します。 |
|  | 冊子の名称を示します。 例) 『サポート・サービスのご案内』 |

梱包品を確認する

はじめに梱包品がそろっているか確認します。万一、梱包品の不足や不良、仕様違いがありましたら、商品お届け後 8 日以内に担当窓口までご連絡ください。詳しくは、[別冊](#)『サポート・サービスのご案内 (ディスプレイ用)』をご覧ください。



参考

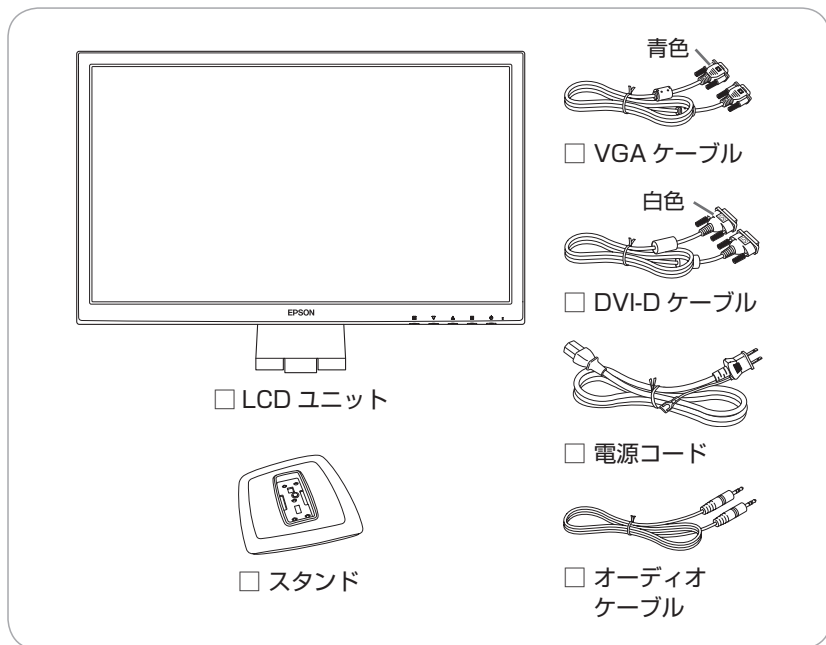
保証書について

当社では、ご購入日や保証サービスなどのお客様情報をデータベースで登録・管理しています。このため、保証書は添付されていません。

1

ハードウェアを確認する

ハードウェアがそろっているか、確認してください。



2

マニュアルを確認する

マニュアル類がそろっているか、確認してください。

- 取扱説明書 (本書)
- サポート・サービスのご案内 (ディスプレイ用)

本機の特長

本機の特長は次のとおりです。

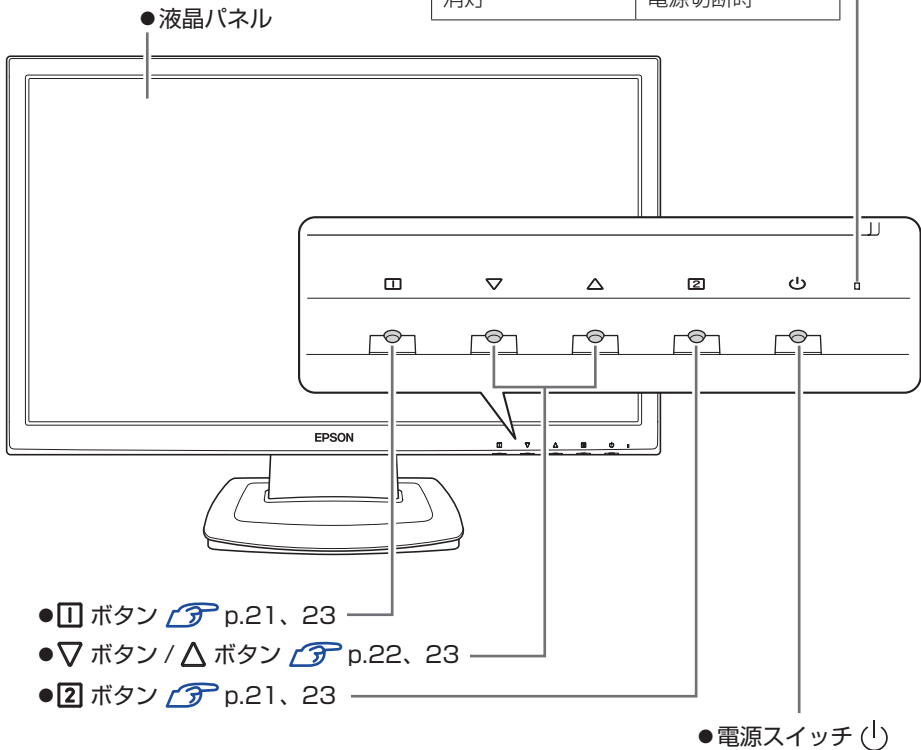
- 1 表示**
21.5 型ワイド液晶パネル（カラー TFT）を搭載し、最大解像度は 1920 × 1080（フル HD）、色数は約 1677 万色表示に対応しています。
- 2 インタフェース**
アナログとデジタルのコネクターを装備し、コンピューターの画像出力に応じた接続ができます。
- 3 デュアル入力対応**
デジタルとアナログのコネクターにそれぞれコンピューターを接続できます。コンピューターの画面は、OSD メニューの「入力切替」画面で入力信号を切り替えて表示することができます。
- 4 サウンド機能**
ライン入力コネクター、スピーカーを装備しています。コンピューターと接続して、本機のスピーカーからコンピューターの音声を出力することができます。
- 5 調整機能（OSD メニュー）**
OSD（On-Screen-Display）のメニューにより、本機の様々な調整ができます。
- 6 ECO Mode（エコモード）**
簡単なボタン操作で、画面の輝度を 50（最大設定値の半分）にし、電力消費を抑えたモードに設定することができます。
- 7 省電力機能**
コンピューターからの入力信号が無い場合、本機は自動的にスタンバイ状態になり消費電力を抑えます。
- 8 DDC2B（Display Data Channel）**
本機は DDC2B に準拠しています。そのため、本機とコンピューターを接続するだけで、本機の解像度やリフレッシュレートなどの情報がコンピューターに読み込まれ、すぐに表示することができます。




各部の名称と働き

本機前面

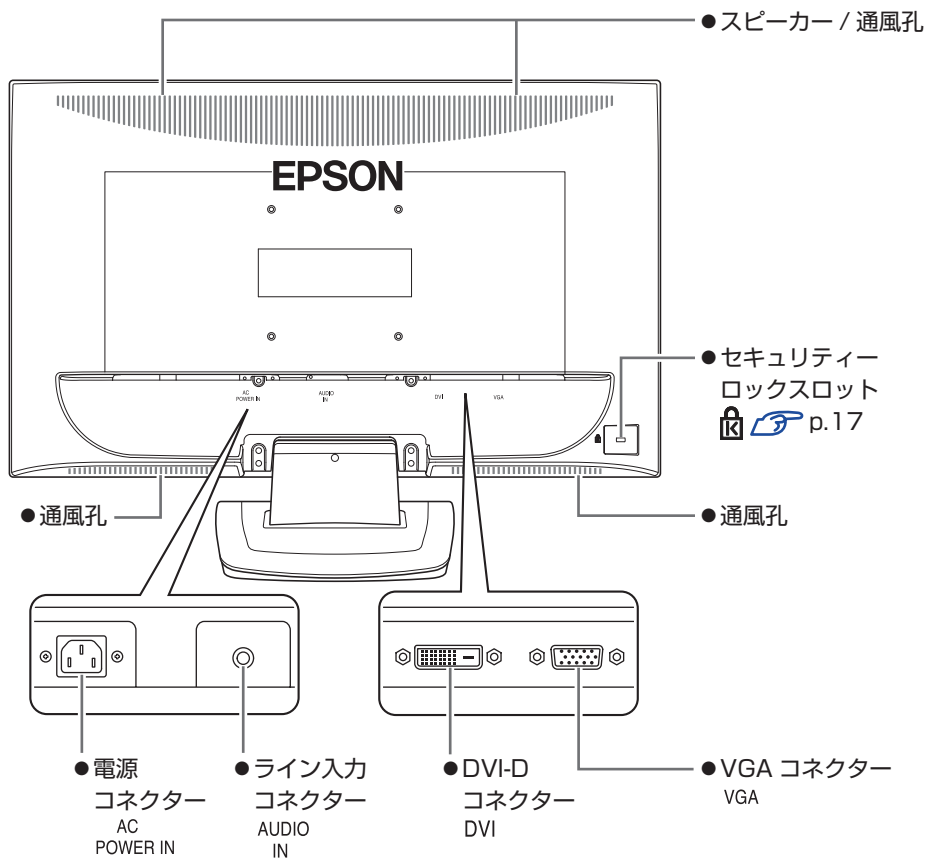
●電源表示ランプ

| ランプ表示 | 本機の状態 |
|---------|--------|
| 青色点灯 | 通常動作 |
| オレンジ色点灯 | スタンバイ時 |
| 消灯 | 電源切断時 |



- 1 ボタン  p.21、23
- ▽ ボタン / ▲ ボタン  p.22、23
- 2 ボタン  p.21、23

本機背面



コンピューターと接続する

本機を設置し、コンピューターと接続して、使用できる状態にする手順を説明します。

接続するコンピューターのマニュアルも合わせてご覧ください。

コンピューターに拡張ビデオボードやサウンドボードを装着している場合は、各ボードのマニュアルもご覧ください。

設置における注意



- 不安定な場所（ぐらついた台の上や傾いた所など）に置かないでください。落ちたり、倒れたりして、けがをする危険があります。
- 本機の通風孔をふさがないでください。通風孔をふさぐと内部に熱がこもり、火災の危険があります。設置する際は、次の点を守ってください。
 - ・押し入れや本箱など風通しの悪いところに設置しない。
 - ・毛布やテーブルクロスのような布をかけない。

各種コード（ケーブル）接続時の注意



- 本機には、必ず同梱された電源コードを使用してください。また、同梱された電源コードは、ほかの製品に使用しないでください。感電・火災の原因となります。
- めれた手で電源プラグを抜き差ししないでください。感電の原因となります。
- 電源コードのたこ足配線はしないでください。発熱し、火災の原因となります。家庭用電源コンセント（交流 100V）から電源を直接取ってください。
- 電源プラグを取り扱う際は、次の点を守ってください。取り扱いを誤ると、火災の原因となります。
 - ・電源プラグはホコリなどの異物が付着したまま差し込まない。
 - ・電源プラグは刃の根元まで確実に差し込む。



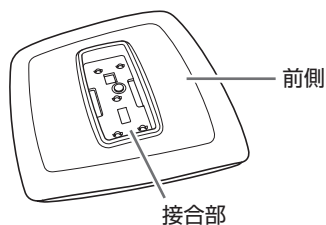
各種コード（ケーブル）は、本書で指示されている以外の配線をしないでください。配線を誤ると、火災の危険があります。

接続は、本機およびコンピューターの電源を切った状態で行ってください。

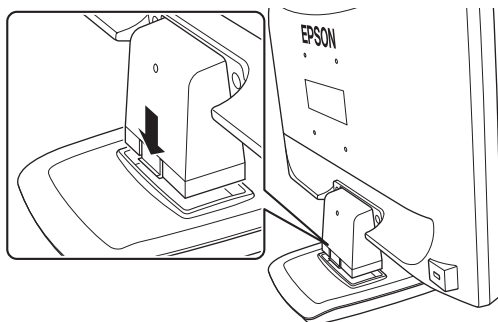
1 設置場所（机などの丈夫で水平な台の上）にスタンドを置きます。

2 LCD ユニットのスタンドにセットします。

- ① スタンドと LCD ユニットの向きを確認します。
横幅が広い方が前側です。



- ② スタンドの接合部に LCD ユニットの突起部を差し込み、カチッと音がするまで押し込みます。



3 コンピューターの出力コネクター*を確認し、接続に使用するケーブルを選択します。

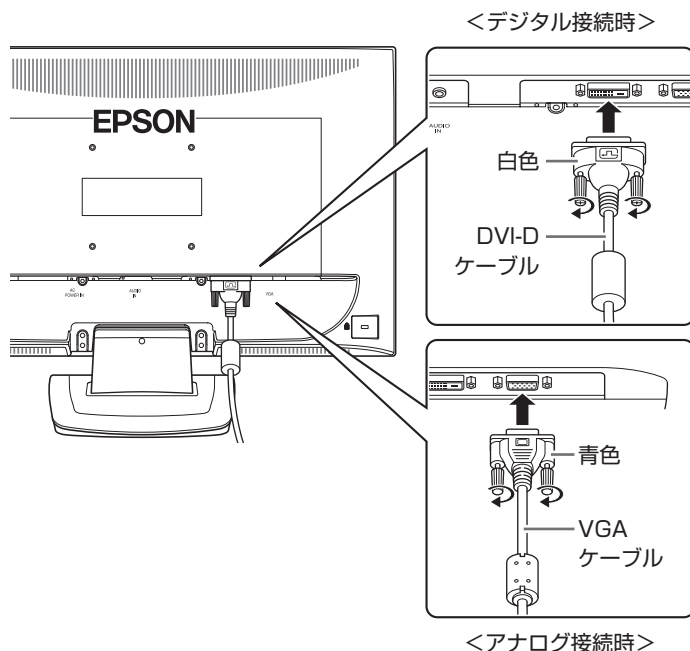
* ビデオボードをお使いの場合は、ビデオボードの出力コネクター

| コンピューターの出力コネクター | 接続方法 | 使用ケーブル |
|--|--------|------------|
|  < DVI-D コネクター > | デジタル接続 | DVI-D ケーブル |
|  < DVI-I コネクター > | | |
|  < VGA コネクター > | アナログ接続 | VGA ケーブル |

デジタル接続の方が、アナログ接続よりも鮮明な画像を表示します。

4 選択したケーブル（1本）で本機とコンピューターを接続します。

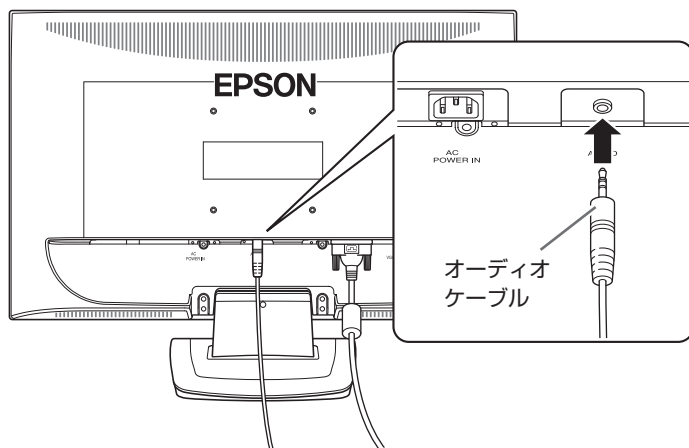
ケーブルのプラグをコネクターに差し込んだら、プラグ両側のネジを締め、しっかり固定します。



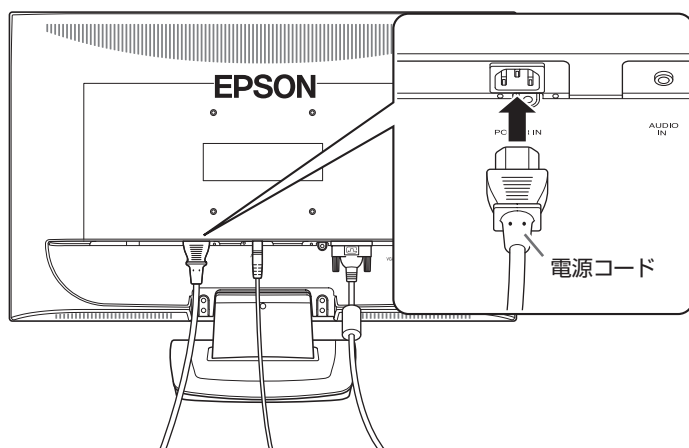
- 5** 本機のスピーカーを使用する場合は、オーディオケーブルで本機とコンピューターを接続します。

オーディオケーブルで、本機のライン入力コネクター（**AUDIO IN**）とコンピューターのライン出力コネクター*を接続します。

* サウンドボードをお使いの場合は、サウンドボードのライン出力コネクター



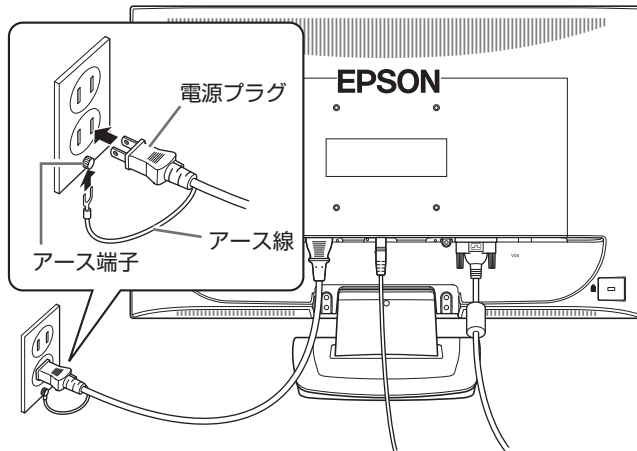
- 6** 同梱の電源コードを、本機の電源コネクター（**AC POWER IN**）に接続します。



7

電源コードを電源コンセントに接続します。

電源コードのアース線は、必ずアース端子に接続してください。

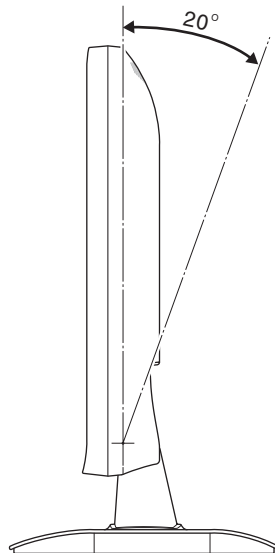


これでコンピューターとの接続は完了です。

画面の角度を調整する

本機では画面の角度を調整することができます。

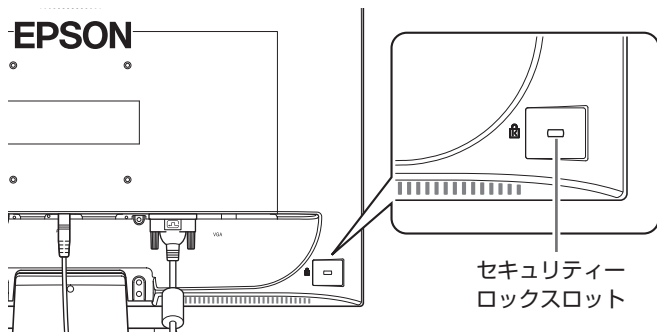
後方に約 20° まで傾けることができます。



セキュリティーロックスロットを利用する

盗難抑止用ワイヤー（セキュリティーロック）を、本機につなぐことができます。

セキュリティーロックスロットに市販の盗難抑止用ワイヤー（セキュリティーロック）を取り付けます。




電源の入れ方 / 切り方

本機の電源の入れ方、切り方について説明します。コンピューターの電源の入れ方、切り方は、コンピューターのマニュアルをご覧ください。

電源を入れる

電源を入れる手順は次のとおりです。

1 本機の電源スイッチ（）を押して、電源を入れます。
本機の電源表示ランプが青色に点灯します。

2 コンピューターの電源を入れます。
画面が表示されます。
※本機への入力信号が無い場合、画面は表示されず、電源表示ランプがオレンジ色に変わります。ケーブル類が正しく接続されているか確認してください。

 p.34「困ったときは」

電源投入後の作業（アナログ接続時）


アナログ接続後、初めて画面が表示された際に自動画面調整を行ってください。

 p.20「自動画面調整（アナログ接続時）」

電源を切る

電源を切る手順は次のとおりです。

1 コンピューターの電源を切ります。
画面表示が消え、本機の電源表示ランプがオレンジ色に変わります。

2 本機の電源スイッチ（）を押して、電源を切ります。
本機の電源表示ランプが消灯します。

使用時の確認事項

本機をお使いになる前に、下記の確認事項を必ずお読みください。

液晶パネルについて

液晶パネルは、表示する条件により斑点や色むらが目立つ場合があります。また、液晶パネルは非常に高い精度で作られています。ごくわずかに画素抜けや常時点灯する画素が存在する場合があります。いずれの場合も、故障ではありませんので、あらかじめご了承ください。



参考

液晶パネルのドット抜け基準値

本機の液晶パネルのドット*抜け基準値は、5 個以下です。これは、全ドットの 0.00008%以下に相当します。

* 「ドット」は副画素(サブピクセル)を指します。液晶パネルでは、1 個の画素が RGB の 3 個の副画素で構成されています。本機の場合は、6,220,800 個の副画素があります。本書に記載しているドット抜け基準値は、ISO13406-2 に従って、副画素単位で計算しています。

省電力機能について

本機の電源が入っていても、コンピューターの電源が切れていたり、コンピューター側が省電力状態になっていたりして本機への入力信号が無い場合は、本機は自動的にスタンバイ(画面表示をしない)状態になり、電力消費を抑えます。

コンピューター側の省電力機能については、コンピューターのマニュアルをご覧ください。

本機の名動作状態における消費電力とランプ表示は次のとおりです。

| 本機の状態 | 消費電力 | 電源表示ランプ |
|--------------------|----------------------|-----------|
| 動作時 | 最大 30W 通常* 23W 前後 | 点灯(青色) |
| スタンバイ時 (入力信号なし) | 2W 以下 | 点灯(オレンジ色) |
| 電源オフ時 | 1W 以下 | 消灯 |

*輝度が 200cd/m² の場合

表示する

本機とコンピューターを接続するだけで、本機の解像度やリフレッシュレートなどの情報がコンピューターに読み込まれ、すぐに表示することができます。

解像度を変更する

本機の最大解像度は、1920 × 1080 (フル HD) です。
解像度の変更は、接続するコンピューターの画面設定で行うことができます。
変更方法は、コンピューターのマニュアルをご覧ください。

自動画面調整(アナログ接続時)

自動画面調整とは、画面表示を自動で最適な状態に調整する機能です。
本機を購入後、初めてアナログ接続で使用する場合は、コンピューターを変更した場合などに行ってください。
デジタル接続の場合は必要ありません。

自動画面調整では、次の項目を調整しています。

- ・クロック ・フェーズ ・水平位置 ・垂直位置

調整時の確認事項

調整は次の状態で行ってください。

- ・本機の電源投入時から 30 分以上経過（動作が安定）後
- ・Windows デスクトップ画面などを表示した状態



制限

デスクトップ画面の背景が黒色の場合は、自動画面調整を行っても正常に調整されないことがあります。黒色以外の背景を使用して調整を行ってください。

自動画面調整を行う

自動画面調整は、次の操作で行います。


- ボタンを押して、メインメニューから「自動画面調整」を選択する
 - p.23 「OSD メニューの起動と操作」
 - p.25 「メインメニュー」 - 「自動画面調整」

2台のコンピューターの画面を切り替えて表示する


アナログ出力のコンピューターと、デジタル出力のコンピューターを本機に2台同時に接続（デュアル入力）して、それぞれの画面に切り替えて表示することができます。

画面の切り替えは、OSDメニューの「入力切替」画面で行います。

OSDメニューの操作方法は次をご覧ください。

 p.23 「OSDメニューの起動と操作」



「入力切替」画面の表示方法は、次の2つです。

- **2** ボタンを押す
- **1** ボタンを押して、メインメニューから「入力切替」を選択する
 p.27 「入力切替サブメニュー」

ECO Modeを使用する


ECO Mode をオンにすると、画面の輝度が50（最大設定値の半分）に設定され、電力消費を抑えたモードで本機を使用することができます。

ECO Mode のオン/オフ切り替え方法は、次の2つです。

- **1** ボタンと **2** ボタンを同時に長押し（2秒以上）する
押す度にオン/オフが切り替わります。
- **1** ボタンを押して、メインメニューの「コントラスト/輝度」－「ECO Mode」を選択する
 p.23 「OSDメニューの起動と操作」
 p.26 「コントラスト/輝度サブメニュー」

音声を出力する

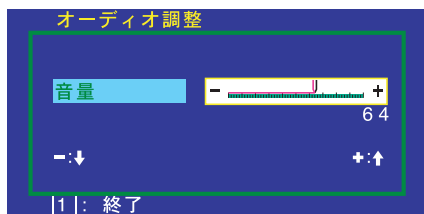
コンピューターからの音声を、本機のスピーカーから出力するには、コンピューターと本機を添付のオーディオケーブルで接続します。

 p.15 「コンピューターと接続する」の **5**

音量を調節する

音量調整や消音設定方法は、次のとおりです。

- **▽** または **△** ボタンのどちらかを押す
音量調整画面が表示されます。





<音量調整画面>

音量を大きくする : **△** ボタンを押す


音量を小さくする : **▽** ボタンを押す

音量調整画面を終了するには、調節後そのまま放置するか、**□** ボタンを押します。

- **▽** ボタンと **△** ボタンを同時に押す
ミュート（消音）アイコン、または消音解除アイコンが表示されます。
押す度にミュート（消音）の設定と解除が切り替わります。
- **□** ボタンを押して、メインメニューから「オーディオ調整」を選択する
 p.23 「OSD メニューの起動と操作」
 p.28 「オーディオ調整サブメニュー」

OSD メニューで調整する

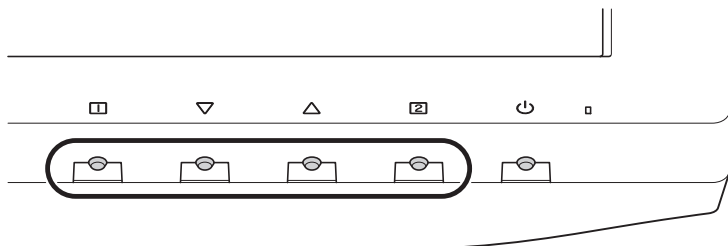
画面表示位置や明るさの調整など、画面に関する設定は、OSD メニューで行います。

調整項目の詳細は、 p.25 「メニュー画面の詳細」 をご覧ください。

OSDメニューの起動と操作

起動や操作には、本機右側下面にある次の4つのボタンを使用します。

・  ボタン ・  ボタン ・  ボタン ・  ボタン



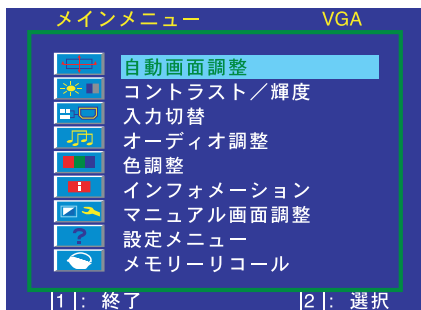
OSD メニューの起動方法と基本的な操作方法は次のとおりです。

●OSD メニューの表示（起動）

 ボタンを押すとメインメニューが表示されます。

●メニュー画面の操作

、 ボタンで項目を移動し、 ボタンで選択（決定）します。



メインメニューの項目を選択（決定）すると、調整が実行されたり、サブメニューが表示されたりします。

●調整項目の操作

サブメニューに調整項目がある場合の操作は、次の手順で行います。

- ① ▽、△ ボタンで項目を移動し、[2] ボタンで選択（決定）します。
- ② ▽、△ ボタンで値を調整し、[1] ボタンで調整を終了します。



<コントラスト／輝度サブメニュー画面>

●OSD メニューの終了

終了方法は、次の2つです。

- [1] ボタンを押す
(サブメニューの場合はメインメニューに戻ります。)
- そのまま放置 (初期値は 15 秒)

OSD メニューのロック

OSD メニューの設定を変更されたくない場合は、メニュー表示をロックすることができます。

購入時、メニュー表示はロックされていません。

OSD メニューのロックとロック解除は、次のボタン操作で行います。

●[1] ボタンと △ ボタンを同時に長押し (約 5 秒) する

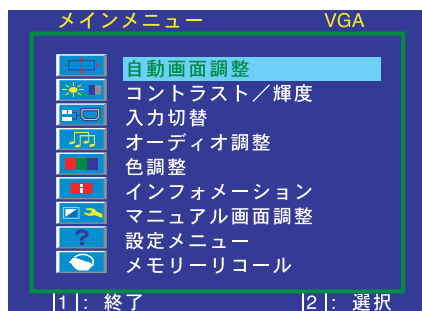
ロックする場合は、「OSD ボタンロック設定中」と表示されます。「OSD ボタンロック」と表示されるまで押しつづけます。

ロックを解除する場合は、「OSD ボタンロック解除中」と表示されます。「OSD ボタンロック解除」と表示されるまで押しつづけます。






メニュー画面の詳細



OSD メニューで表示される各メニューの項目を説明します。

メインメニュー

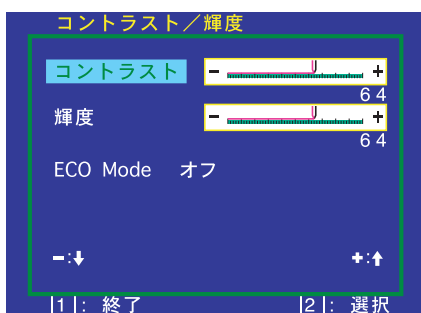


メインメニューでは、次の項目を選択できます。

| 項目 | 内容 |
|-----------------|--|
| 自動画面調整 | アナログ接続時にクロック、フェーズ、水平位置、垂直位置を自動的に最適な状態に調整します。  p.20 「自動画面調整 (アナログ接続時)」 ※デジタル接続時は選択できません。 |
| コントラスト / 輝 度 | サブメニューを表示し、コントラストや輝度の調整、ECO Mode の設定を行います。  p.26 「コントラスト / 輝度サブメニュー」 |
| 入力切替 | サブメニューを表示し、入力画面の設定を行います。  p.27 「入力切替サブメニュー」 |
| オーディオ調整 | サブメニューを表示し、音量に関する調整を行います。  p.28 「オーディオ調整サブメニュー」 |
| 色調整 | サブメニューを表示し、色合いに関する調整を行います。  p.29 「色調整サブメニュー」 ※「マニュアル画面調整」の ColorVision モードをスタンダード以外に設定時は、選択できません。 |
| インフォメーション | サブメニューに本機の情報を表示します。 表示される情報は次のとおりです。 ・水平周波数 ・垂直周波数 ・解像度 ・Mode (アナログ接続時のみ表示) ・ドットクロック ・モデル番号 |

| 項目 | 内容 |
|-----------|---|
| マニュアル画面調整 | サブメニューを表示し、画面に関する調整を行います。  p.30 「マニュアル画面調整サブメニュー」 |
| 設定メニュー | サブメニューを表示し、OSD メニューの表示に関する調整を行います。  p.31 「設定メニューサブメニュー」 |
| メモリーリコール | OSD メニューの設定を初期値に戻します。 |

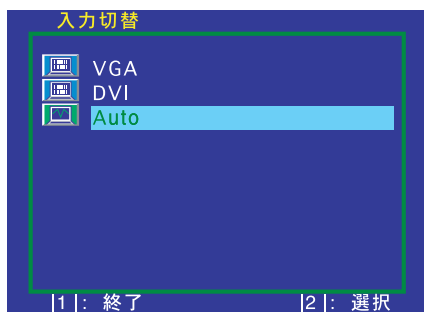
コントラスト / 輝度サブメニュー



コントラスト / 輝度サブメニューでは、次の項目を設定できます。

| 項目 | 内容 |
|----------|--|
| コントラスト | 画面のコントラスト（明暗比）を調整します。 ※ 次の場合は選択できません。 ・ ECO Mode をオンに設定時 ・ 「マニュアル画面調整」の ColorVision モードをスタンダード以外に設定時 |
| 輝度 | 画面の輝度（明るさ）を調整します。 ※ 次の場合は選択できません。 ・ ECO Mode をオンに設定時 ・ 「マニュアル画面調整」の ColorVision モードをスタンダード以外に設定時 |
| ECO Mode | 画面の輝度を 50（最大設定値の半分）に設定します。 初期値はオフです。 ECO Mode のオン / オフは、簡単なボタン操作で行うこともできます。  p.21 「ECO Mode を使用する」 |


入力切替サブメニュー



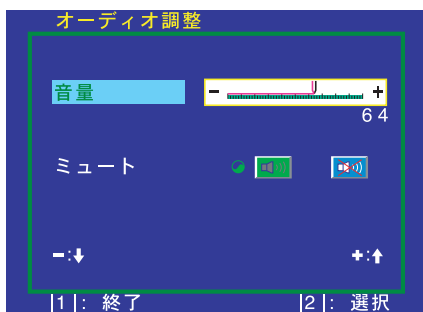
入力切替サブメニューでは、次の項目を設定できます。

| 項目 | 内容 |
|------|--|
| VGA | VGA ケーブルで接続したアナログ出力のコンピューターの画面を表示します。 |
| DVI | DVI-D ケーブルで接続したデジタル出力のコンピューターの画面を表示します。 |
| Auto | 接続したコンピューターの画面を自動的に表示します。 入力切替の初期値です。 |



「入力切替」画面は、簡単なボタン操作で表示することもできます。

 p.21 「2 台のコンピューターの画面を切り替えて表示する」

オーディオ調整サブメニュー



オーディオ調整サブメニューでは、次の項目を設定できます。

| 項目 | 内容 |
|------|---|
| 音量 | 本機から出力される音声の音量を調整します。 音量調整画面は、簡単なボタン操作で表示することもできます。  p.22 「音量を調節する」 |
| ミュート | 本機の音声出力をミュート（消音）に設定、または消音設定を解除します。 ミュート（消音）の設定と解除は、簡単なボタン操作で行うこともできます。  p.22 「音量を調節する」 |

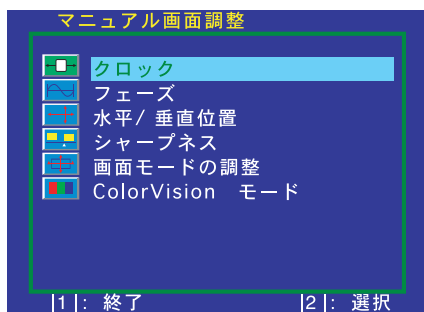
色調整サブメニュー



色調整サブメニューでは、色調を次の項目から選択できます。

| 項目 | 内容 |
|------------|--|
| Standard | 画面表示を標準的な色調にします。 |
| Cool | 画面表示を昼光色より青みがかった色調にします。 |
| Warm | 画面表示を昼光色に近い自然な色調にします。 |
| User Color | 色調整の初期値です。 Red、Green、Blue の各設定値を変更して、お好みの色調に調整できます。 |

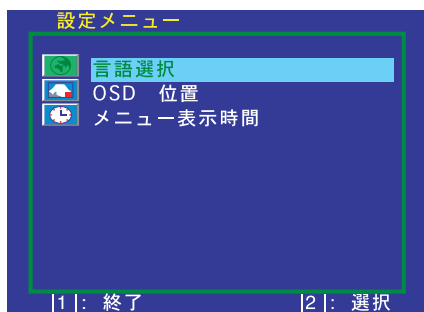
マニュアル画面調整サブメニュー



マニュアル画面調整サブメニューでは、次の項目を設定できます。

| 項目 | 内容 |
|-----------------|---|
| クロック | 表示画面に縦縞状のノイズが入っている場合に調整します。 ※デジタル接続時は選択できません。 |
| フェーズ | 画面のにじみや、ちらつきがある場合に調整します。 ※デジタル接続時は選択できません。 |
| 水平 / 垂直位置 | 水平位置：表示画面を左右に移動して調整します。 垂直位置：表示画面を上下に移動して調整します。 ※デジタル接続時は選択できません。 |
| シャープネス | シャープネス（輪郭強調）を調整します。 ※解像度 1920 × 1080 で表示している場合は、選択できません。 |
| 画面モードの調整 | 表示する画面のモードを選択します。初期値はフルです。 フル： 全画面に表示します。 拡大表示： 拡大した画面を表示します。 アスペクト： 次の解像度で表示している場合に実行可能で、その解像度のアスペクト比（4：3 または 5：4）で表示します。 640 × 480、800 × 600、1024 × 768、 1280 × 1024 |
| ColorVision モード | 画面の内容にあわせて、色合いや輝度、コントラストを設定したモードを選択できます。 ・スタンダード・ゲーム・映画・風景・テキスト 初期値は、スタンダードです。スタンダード設定時のみ、色調整や輝度 / コントラストを OSD メニューで変更することができます。 |

設定メニューサブメニュー



設定メニューサブメニューでは、次の項目を設定できます。

| 項目 | 内容 |
|----------|---|
| 言語選択 | OSD メニューの表示言語を設定します。 「日本語」または「English」を選択します。 初期値は日本語です。 |
| OSD 位置 | OSD メニューの表示位置（水平位置と垂直位置）を調整します。 |
| メニュー表示時間 | OSD メニューを表示させる時間（秒）を次の 4 つの値から設定します。 5/15/30/60 初期値は 15（秒）です。 |

お手入れ

本機のお手入れ方法について説明します。

外装

本機の外装の汚れやホコリは、水で薄めた中性洗剤を染み込ませたやわらかい布をよく絞って、軽く拭き取ってください。



制限

- 本機をたたいたり、硬いものでこすったりしないでください。変形やキズ、破損の原因となります。
- ベンジン、シンナーなどの溶剤を使わないでください。変色や変形の可能性があります。

液晶パネル部分

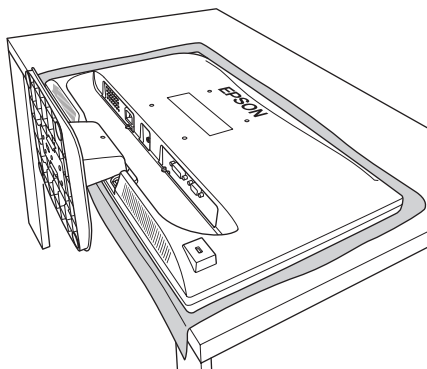
液晶パネル部分は傷つきやすいため、液晶パネルについた汚れやホコリは、乾いた布やティッシュペーパーなどで軽く拭き取ります。水や洗剤などは使わないでください。

収納するとき

本機を梱包箱に収納するには、本体からスタンドを外します。
この作業は、ケーブル類をすべて取り外してから行ってください。

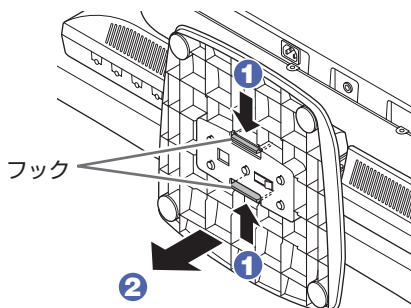
スタンドの取り外し

- 1** 本機の前面側を下にして、図のように机の上に倒します。
液晶パネルを傷つけないよう、机の上に薄い布などを敷いておいてください。



- 2** スタンドを外します。

- 1** 底面にある2つのフックを、矢印の方向（内側）に押した状態で、スタンドを底面側にずらして固定を外します。
- 2** 少しずつ底面にずらしながら、スタンドを引き抜きます。







<スタンド底面>

これで、スタンドの取り外しは完了です。



困ったときは

困ったときの確認事項と対処方法を説明します。不具合が発生した場合、参考にしてください。

下記の対処方法でも改善されない場合は、『サポート・サービスのご案内（ディスプレイ用）』をご覧ください、テクニカルセンターまでご連絡ください。

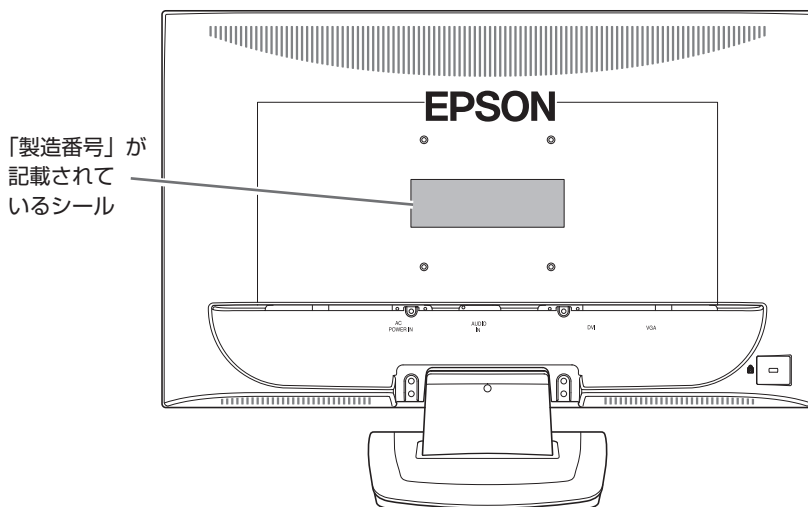
| 現象 | 確認と対処 |
|-------------------|--|
| 画面になにも表示されない。 | <ul style="list-style-type: none">● 本機の電源が入っている（電源表示ランプが点灯している）かどうか確認してください。● 電源表示ランプがオレンジ色に点灯している場合、コンピューターの電源が入っているか確認してください。コンピューターの電源が入っている場合は、省電力状態の可能性があります。キーボードやマウスなどを操作してみてください。● 電源コード、VGA ケーブル、または DVI-D ケーブルなどが、正しく接続されているか確認してください。また、コンピューターと本機の電源を切ってから、VGA ケーブルまたは DVI-D ケーブルを接続しなおしてみてください。● コンピューターの信号タイミングが本機の仕様にあっているか確認してください。  p.37 「プリセットタイミング（アナログ接続時）」● OSD メニューの「入力切替」を変更している場合、画面の選択が正しいか確認してください。  p.27 「入力切替サブメニュー」 |
| 画面がちらついたり、乱れたりする。 | <ul style="list-style-type: none">● コンピューターの信号タイミングが本機の仕様にあっているか確認してください。  p.37 「プリセットタイミング（アナログ接続時）」● 本機をアナログで使用している場合は、自動画面調整を行ってください。  p.20 「自動画面調整（アナログ接続時）」● お使いのコンピューターがリフレッシュレートを変更できる機種の場合は、周波数を変更してみてください。 |

修理を依頼する前に

修理を依頼する前に、 p.34 「困ったときは」をよくお読みください。また、お使いのコンピューターのマニュアルもご確認ください。
それでも問題が解決できない場合は、 別冊 『サポート・サービスのご案内（ディスプレイ用）』をご覧ください、カスタマーサービスセンターへ修理をご依頼ください。

製造番号の確認

ご連絡いただく前に、本機背面に貼付のシールで本機の「製造番号」を確認しておいてください。お問い合わせや修理受付の際に必要となります。
シールの位置は、下記のとおりです。



機能仕様一覧

| | | |
|----------------|---|---|
| 型番 | LD22W62S | |
| サイズ | 21.5 型 (可視域対角 約 55.0cm) | |
| パネル方式 | カラー TFT | |
| 画素ピッチ | 0.248mm × 0.248mm | |
| 最大解像度 | フル HD : 1920 × 1080 | |
| 最大表示色 | 約 1677 万色 | |
| 同期周波数 | 水平 : 30 ~ 82kHz / 垂直 : 55 ~ 76Hz | |
| 最大輝度 | 250cd/m ² | |
| コントラスト比 | 1000 : 1 | |
| 応答速度 | 約 5ms | |
| 視野角 | 水平 : 160° / 垂直 : 160° | |
| 表示画面サイズ (横×縦) | 約 477mm × 約 268mm | |
| 調整機能 | アナログ | 自動画面調整、コントラスト/輝度 (コントラスト、輝度、ECO Mode)、入力切替 (VGA、DVI、Auto)、オーディオ調整 (音量、ミュート)、色調整 (Standard、Cool、Warm、User Color)、インフォメーション、マニュアル画面調整 (クロック、フェーズ、水平 / 垂直位置、シャープネス、画面モード調整、ColorVision モード)、設定メニュー (言語選択、OSD 位置、メニュー表示時間)、メモリーリコール |
| | デジタル | コントラスト/輝度 (コントラスト、輝度、ECO Mode)、入力切替 (VGA、DVI、Auto)、オーディオ調整 (音量、ミュート)、色調整 (Standard、Cool、Warm、User Color)、インフォメーション、マニュアル画面調整 (シャープネス、画面モード調整、ColorVision モード)、設定メニュー (言語選択、OSD 位置、メニュー表示時間)、メモリーリコール |
| 入力信号 | アナログ | アナログ RGB (同期 : セパレート) |
| | デジタル | デジタル TMDS (DVI 1.0 準拠) |
| 入力端子 | アナログ | ミニ D-sub 15 ピン |
| | デジタル | DVI-D 24 ピン (HDCP 対応) |
| ライン入力コネクター | ステレオミニジャック | |
| スピーカー | 1W + 1W | |
| 入力電源 | AC100V ± 10% 50/60Hz | |
| 消費電力 | 30W (最大輝度時) / 23W 前後 (通常輝度時 : 200cd/m ²) / 2W 以下 (スタンバイ時) / 1W 以下 (電源オフ時) | |
| 温湿度条件 | 温度 : 10 ~ 35℃ 湿度 : 20 ~ 80% (結露しないこと) | |
| 外形寸法 (幅×奥行×高さ) | 513mm × 196mm × 369mm | |
| 質量 | 本体のみ : 約 3.4kg | |
| プラグアンドプレイ | VESA DDC 2B | |
| パワーセーブ | VESA DPMS/DVI DMPM 準拠 | |

プリセットタイミング(アナログ接続時)

本機には、下記の信号タイミングに対応する最適な画面設定があらかじめ登録（プリセット）されています。

制限

- お使いのコンピューターの解像度などを下記の信号タイミング以外に設定したとき、正常に表示されない場合があります。
- 未対応の信号タイミングが本機に入力された場合、「入力信号仕様範囲外」と表示され、本機はスタンバイ状態に入ります。この場合は、お使いのコンピューターのマニュアルをご覧になり、リフレッシュレートを下記のいずれかの垂直周波数に設定してください。

| 解像度 | 水平周波数 (kHz) | 垂直周波数 (Hz) |
|-------------|-------------|------------|
| 640 × 480 | 31.4 | 59.9 |
| | 37.8 | 72.8 |
| | 37.5 | 75.0 |
| 720 × 400 | 31.4 | 70.0 |
| 800 × 600 | 37.8 | 60.3 |
| | 48.0 | 72.1 |
| | 46.8 | 75.0 |
| 1024 × 768 | 48.3 | 60.0 |
| | 56.4 | 70.0 |
| | 60.0 | 75.0 |
| 1152 × 864 | 67.5 | 75.0 |
| 1280 × 720 | 45.0 | 60.0 |
| | 44.7 | 59.8 |
| 1280 × 768 | 47.3 | 59.9 |
| | 47.7 | 59.8 |
| | 60.2 | 74.8 |
| 1280 × 1024 | 63.9 | 60.0 |
| | 79.9 | 75.0 |
| 1360 × 768 | 47.7 | 60.0 |

| 解像度 | 水平周波数 (kHz) | 垂直周波数 (Hz) |
|-------------|-------------|------------|
| 1366 × 768 | 47.7 | 59.7 |
| 1400 × 1050 | 65.3 | 59.9 |
| 1440 × 900 | 55.4 | 59.9 |
| | 55.9 | 59.8 |
| | 70.6 | 74.9 |
| 1680 × 1050 | 64.6 | 59.8 |
| | 65.2 | 59.9 |
| 1920 × 1080 | 67.5 | 60.0 |
| | 66.5 | 59.9 |

本機を日本国外へ持ち出す場合のご注意

本機は日本国内でご使用いただくことを前提に製造・販売しております。

本機の修理・保守サービスおよび不具合などの対応は、日本国外ではお受けできませんのでご了承ください。また国外ではその国の法律または規制により、本機を使用できないこともあります。このような国では、本機を運用した結果、罰せられることがあります。当社といたしましては一切責任を負いかねますので、ご了承ください。

電波障害について

この装置は、クラス B 情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。取扱説明書に従って、正しい取り扱いをしてください。

有寿命部品について

液晶ディスプレイには有寿命部品が含まれています。

有寿命部品の交換時期の目安は、使用頻度や条件により異なりますが、本製品を通常使用した場合、1日8時間、1ヶ月で25日間のご使用で、約5年です。これは、あくまで目安であって、故障しないことや無料修理をお約束するものではありません。なお、長時間連続使用など、ご使用の状態によっては早期に、あるいは製品の保証期間内であっても、部品交換（有料）が必要となります。

UPS 対応について

電源の入力波形は、正弦波のみをサポートしています。

パソコン回収について



当社では、不要になったパソコンの回収・再資源化を行っています。

PCリサイクルマーク付きの当社製パソコンおよびディスプレイは、ご家庭から廃棄する場合、無償で回収・再資源化いたします。

パソコン回収の詳細は下記ホームページをご覧ください。

<http://shop.epson.jp/pcrecycle/>

ご注意

1. 本書の内容の一部、または全部を無断で転載することは固くお断りいたします。
2. 本書の内容および製品の仕様について、将来予告なしに変更することがあります。
3. 本書の内容は万全を期して作成いたしました。万一誤り・お気付きの点がございましたら、ご連絡くださいますようお願いいたします。
4. 運用した結果の影響につきまして、3項にかかわらず責任を負いかねますので、ご了承ください。

商標について

本書に記載の社名、製品名は一般にそれぞれの会社の商標または登録商標です。

エプソンダイレクト ユーザーサポートページ

www.epsondirect.co.jp/support/